

8-1-9 広報専門委員会

1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づく機能的実行部隊として活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

(1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

(2) 学生講座WG

建設コンサルタントに対する学生への理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントとは何かを伝える中で、職業としての夢を持ってもらえるような活動を企画。

(3) 一般・社会人広報・ホームページWG

社会人を対象とする広報活動の検討、実施と一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。また、協会HPの運用等に対して改善策を企画提案。建コンフォト大賞入賞作品を活用したカレンダーの制作。

(4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

2. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、令和元年度は、5、7、9、11、1月の5回を開催。

(2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。今年度は3大学と2高専で計5回の業界説明会を開催した。説明会実施学校は、広島工業大学、福井工業大学、大阪工業大学、八戸工業高専、長野工業高専であり、受講者数は合計340名であった。

(3) ワーキング(WG)による活動

a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会用資料として、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるPPT資料の改訂を行い、協会支部へ提供した。また、建設コンサルタントの職業を映像で紹介するリクルート用動画(DVD)を制作し支部へ提供した。

b) 建コン協カレンダーの制作

昨年に続き、建コン協カレンダー(2020年版)を制作した。第10回建コンフォト大賞(2018年度実施)の入選作品13点と協賛企業特別賞作品6点を活用し、A3判二つ折りのカレンダーを22,800部制作。協会広報誌「Consultant」285号(10月発行)発送時に同梱したほか、支部開催のセミナーや、広報事業専門委員会主催の写真展でも配布した。

c) 学生向けリーフレット・ポスターの制作

学校説明会等で、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるリーフレット(5,800部)とA3版ポスター(290部)、A1版ポスター(130部)を印刷し協会支部へ配布した。

d) 「学びのフェス2019春」への出展

小学生と保護者が対象の「学びのフェス2019春(毎日新聞社主催)」に出展した(平成31年4月3日)。展示ブースでは「社会資本と建設コンサルタントの災害対策」をテーマに、実験模型などを使った出前授業を5回実施した。授業参加児童数は合計40名。

e) 子供向け仕事紹介サイトへの掲載

小学生・中学生が未来の仕事を探すサイト「学研キッズネット」に建設コンサルタントの仕事の内容を掲載し、職業としての認知度向上に取り組んだ。

f) イベント用バックボードの製作

JCCAのロゴマークを入れた組立式バックボードを7台製作し、支部の各種イベントで活用できるよう希望する支部へ配布した。

g) 災害支援時等に着用するジャケット等の検討

災害支援やイベント活動時に着用するジャケット類の協会統一デザイン案を検討した。

(広報専門委員会委員長 宮内 和則)